

# ケアマネ通信

## No. 43

鳥栖地区介護支援専門員協議会

事業所内での回覧をお願いします！

発行：平成 30年 1月1日  
事務局：東町わたや薬局内  
担当： 松雪幹一 木下里美  
TEL：0942-81-3039  
FAX：0942-81-3053  
E-Mail：hwataya@vip.saganet.ne.jp  
URL：http://www.tosukaigo.com/  
【協力：鳥栖地区広域市町村圏組合介護  
保険課】



## 1. ご挨拶

鳥栖地区介護支援専門員協議会 会長 梅木康一

新年明けましておめでとうございます。

寒い日が続いておりますが、会員の皆様はお変わりございませんでしょうか。

さて本年は介護、医療、障害のトリプル改定が行われる年であり、会員の皆様も様々な研修会に参加し情報を集め、対策を練っているところと思います。

1月後半には社会保障審議会より報酬単価の提案がなされ、2月の全国担当課長会議により厚労省告示、算定解釈通知が出る予定です。3月になればQ&Aも順次発出される予定です。新聞では0.5%前半のプラス改定でまとまったと言われてはいますが、実際はどうなのでしょう。この原稿は12月上旬に作成しておりますので、この通信が出る頃には改定率や加算の詳細が示されているかもしれませんね。

介護支援専門員における今回の改正ポイントとしては、医療と介護の連携、自立支援、ケアマネジメントの質の向上、この3つが大きく反映されると言われております。退院時連携や事業管理者の資質向上、偏ったプランには地域ケア会議の実施、複数事業所の紹介義務や他事業所とのプランチェック等、現状ですら介護支援専門員になりたくない、精神的にきついと言った声が聞こえる中で、更に高いレベルを求められるのは少し酷ですよ。緩和させる部分もあれば締め付ける部分もあり、毎回うまく改定していくのですが、今回は運営部分や業務内容（特にケアプラン部分）を特に突かれる事になりそうです。消費税増税に伴い、介護職員には処遇改善加算の更なる拡充が検討されていますが、介護支援専門員にも、そろそろ目を向けて欲しいですね。

今年度ケアマネ協議会では介護職員基礎研修（ケアマネジメント部会）も含めて、全5回の研修会を計画し、既に松川先生による課題整理総括表研修と俵積田先生の障害サービス研修2回が終了しております。そして1月には大分県杵築市役所の秋吉先生、2月に大分県デイサービス楽の佐藤孝臣先生にお願いし、自立支援に基づく研修会をシリーズで実施予定です。最終3月にはケアマネシステムの谷口先生に制度改正時に毎回お願いしている制度改正解釈研修を今回も予定しておりますので、是非沢山の会員の皆様に参加して頂きたいと思います。

年を取る度に時間の経過を早く感じており、平成29年もあっという間でした。何かの研修の際、自己紹介をする場面があり、今年はトレーニングジムに行って、筋肉ムキムキになりますと言っていたのですが・・。平成30年は少し目標のハードルを下げ、メタボにならないことを目標に頑張りたいと思う今日この頃です。  
会員の皆様、本年もどうぞよろしくお願い致します。

本年はケアマネ協議会の役員改選（任期2年）の年となっております。  
協議会では新しく役員になって頂ける方を募集しております。  
業務に無理のない範囲でご協力頂ければ結構です。是非私たちと一緒に活動してみませんか。興味がある方は事務局までご連絡下さい。



## 2. 介護職員等基礎研修ケアマネジメント関係研修会報告



特別養護老人ホーム 花のみね

江口 俊

平成29年11月24日に介護職員等基礎研修ケアマネジメント関係研修が開催され参加させていただきましたのでご報告をいたします。

講演「課題整理総括表の考え方と活用について」

講師 神奈川県介護支援専門員協会 副理事長 松川 竜也 先生

課題整理総括表は利用者の状態や置かれている状況を把握し、情報の整理・分析を通じて課題を導き出した過程を、サービス担当者会議等の多職種協働の場面で説明する際の一つの様式例として策定したもので多職種にも十分に理解して共有してもらうまとめ表であると説明をいただきました。作成方法についても利用者・家族との面談は勿論、主治医意見書や退院サマリー等の他の専門職の意見書等も含め情報収集しケアマネージャーの考えに基づきながら記載しケアプランを確定するまでの間に利用者とは共有しておくことが利用者像をより良く反映されたケアプランになるということを感じ理解することが出来ました。

全国各地に講師として飛び回っている有名な松川先生の研修ともあり非常に分かりやすく3時間という時間もあっという間に過ぎてしまい、まだまだ学びたく今度は実際の事例に基づきながら課題分析総括表の活用についての研修を行って頂けたらと感じました。松川先生も私達、ケアマネージャーの資質向上のためにまた、鳥栖で研修を行いたいとも言っていました。次回も是非、皆さんと一緒に学べたらと思います。

簡単ではありますが研修報告とさせていただきます。



# 3. 介護の日フェスタ報告



けいしん居宅介護支援センター 佛坂 まり子

11月14日に基山町民会館にて「介護の日フェスタ」が開催されました。

当日は天候にも恵まれて地域の方々が多数ご来訪していただきました。

1階の会場では、基山町の20世紀として、思い出の写真展やデイサービス利用者・施設入居者の作品の展示。認知症・排泄・福祉用具や自助具の展示・リハビリ等の相談やステップアップ通所型サービスの紹介等が設置されて、多くの方が興味深く相談や見学されました。また、ハンドマッサージのブースもあり、常に満席の状態でみなさんたいへん喜ばれていました。

2階では、介護支援専門員による介護相談・薬剤師会による展示や相談、在宅ネットワーク活動紹介・訪問看護ステーション連絡協議会による健康相談・栄養士の栄養相談・糖尿病療養指導士の自己血糖測定・糖尿病相談・大塚食品 翔葉の介護食品の展示・相談など、各専門職によるブースにて相談等が行われました。各ブースの展示や相談会に参加し、初めて見る自助具や一人で湿布や軟膏を塗る道具、栄養食品など数多く、専門職の方へのいろんな相談等でき本当に参考になりました。

記念講演会には、200名近い方に参加していただきました。

講演で、「めざせ笑涯現役！エアリハ健康術～道具なし 痛みなし 90分笑い続けて姿勢改善～」の演題にて講師の理学療法士でもある日向亭（ひなたてい）葵氏が、認知症・転倒予防については、会場からモデルを選出し、高齢になると歩行状態や姿勢がどのように変わるかを、解りやすく、笑いを交えながら説明され、姿勢が悪いと転倒のリスクも多くなる。予防するには肩甲骨の周辺の筋肉を鍛える必要があるとの説明を受け、エアリハの実践、頭の中で吊革にゴムチューブをかけたつもりで、しっかり両手でぎゅーと引っ張る動作を会場全体で「いーち、にーい、さん」と叫びながら肩甲骨を寄せる運動やコーヒークップを頭に寄せたつもりでこぼさないように椅子に座る動作など、道具を使わず、想像力を膨らませ動くことで認知症の予防ができ、どこでも、楽しく出来ることで介護予防に大いに役立つ一石二鳥です。会場全体、笑い声も絶えず楽しい講演会でした。

今回、介護の日フェスタの実行委員会の方や基山町・鳥栖地区広域市町村圏組合、各団体・鳥栖地区介護支援専門員協議会会員の協力もあり大盛況に終了しました。

来年度は鳥栖地区での開催予定ですので、ぜひ、多くの介護支援専門員の方の参加やご協力をよろしくお願いいたします。

## 4. ステップアップ通所型サービスの紹介

### 【事業目的】

週2回 2時間おおよそ3ヵ月（計24回）、居宅要支援被保険者等に対し、その心身の状況、置かれている環境などに応じて、保健・医療の専門職が、運動器の機能向上プログラム、認知症予防プログラム、栄養改善プログラム及び口腔機能向上プログラムを複合的に実施すると共に、セルフケア（自分で自己の健康管理を行う事）に向けた動機づけ及び学習を行う事によって、要介護状態等となる事への予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を行う事を目的としています。

### 【特徴】

- ・初回時・終了時には利用者宅を専門職が訪問し、生活課題を把握します。

#### 例) 【問題点】

- #1 浴槽の出入りする側に手摺がなく、浴室の縁を把持して出入りしており、動作が不安定。
- #2 右肩の可動域制限があるが、物干し竿の高さが高すぎる。
- #3 家屋周囲が砂利道や凸凹とした不整地であり、転倒のリスクあり。

### 【改善点・今後の方針】

#1 に対して⇒浴槽跨ぎの動作訓練を行う。また、改善みられない場合は手摺の設置を検討する。

#2 に対して⇒肩関節の可動域訓練、カフエクササイズを実施し肩関節の可動域改善に努める。動作を評価し、物干し竿の高さを低くすることを検討。

#3 に対して⇒歩行訓練、バランス訓練を実施。不整地での歩行能力向上に努める。

- ・生活課題の解決に向けた個別サービス計画を作成します。

### 【実施事業所】

- ・鳥栖市中央デイサービスセンター
- ・きやま鹿毛病院 アザレア
- ・かみみねデイサービスセンター



pixta.jp - 24921096

利用にあたりましては、各地区地域包括支援センターへご相談ください。

## 6. ちよつとひとこと



平成 29 年の今年の漢字は、「北」でした。北朝鮮問題や身近で起きてまだまだ大変な思いをされている方がいらっしゃる九州北部豪雨等、確かにと思いました。

さて、自分自身はと思ひ浮かべた時にまず思ひ浮かんだ漢字が「忍」でした。家庭や仕事、色々なことに「耐え忍び」頑張ったなと思ひを馳せていると……。いやいや待て、平成に入ってからず～と「忍」ではなかったのかと……。

平成時代も残り 1 年余り、最後位は？楽しかった、漢字も「楽」とすぐに思ひ浮かべることができるように日々、「耐え忍び」頑張っていかなければと心に誓う自分がありました。

ケアマネの皆様、平成 30 年度は介護保険の制度改正が控えていますが、鳥栖地区全体で「楽しく」乗り切っていきましょう。「終わりよければすべてよし」



鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険課 <http://www.kttnet.co.jp/tosukaigo>  
佐賀県介護保険事業連合会 <http://www.sagadensan.net/skr/>  
佐賀県介護サービス情報公開システム <http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do>  
厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp>  
WAMNET <http://www.wam.go.jp>  
鳥栖地区介護支援専門員協議会 <http://www.tosukaigo.com/>

会報 編集委員 永松丈幸 木下里美 松雪 幹一 鳥栖地区広域市町村圏組合  
発行責任者 梅木 康一  
発行 鳥栖地区介護支援専門員協議会  
事務局 東町わたや薬局